

令和7年度 第3回湖南省立図書館図書館協議会 会議録

- 開催日時 令和8年3月2日（月） 午後7時00分～8時30分
■開催場所 湖南省立甲西図書館 2階 集会室
■出席者 図書館協議会委員9人
事務局5人
■傍聴人 1人

1. 開 会

[副会長あいさつ]

2. 報 告

- 1) 湖南省立甲西図書館リニューアル基本構想（案）について
- 2) 第4次湖南省子ども読書活動推進計画について
- 3) 次年度の予定について
- 4) 図書館協議会交流会報告

[会長欠席により、副会長による議事進行]

議長	それでは事務局から報告の1の説明をお願いします。
事務局	（資料1に基づき、湖南省立甲西図書館リニューアル基本構想（案）について説明。）
議長	では、質問等をいただければと思いますので、よろしくお願いします。
委員	先進事例です。何ヶ所か見られていますけど、どういう理由で、そこを見られたか。湖南省に近い状態の条件と理想としている条件と大きく2つあると思いますが。
事務局	先進事例調査は、委託業者が市民ニーズ等をふまえて紹介してくださったところです。図書館協議会では一期前に海南省を見に行っていていただいています。メディアコスモスは、委員さんも見に行ってくださっていたり、タウンミーティングの時にこういう図書館にしてほしいと具体名が挙がっていました。
委員	36 ページ、課題の2番目のところに「今後の一館体制への移行を見据え」という言葉があるんですが、石部図書館がなくなる方向というのは前から聞いておりますが、その場合に、新しい構想の中で図書館に代わるもの、例えば子どもに特化した小さい図書館みたいなものを新しくできる石部まちづくりセンターも入る施設にできることになったら、図書館のリニューアルの中身もまた少し変わるの

	かなと思ったりしています。1館体制を見据えというところと、今回の甲西図書館のリニューアルの関係はどうお考えなのでしょうか。
事務局	この2館を1館にという計画とありますが、個別施設計画という市全体の公共施設、図書館だけに限らず、いろんなコミュニティセンターであるとか、体育館であるとか、そういった施設を、人口規模と今後の維持修繕費等を考えた上で、今後どうしていくかという考えの中で、石部図書館については甲西図書館への集約をするということで、統廃合して石部図書館は廃止、甲西図書館については、図書館サービスを提供する社会教育施設として今後も活用していくということで、今現在のこの個別施設計画には上がっています。今回この甲西図書館リニューアルにつきましては、あくまでも甲西図書館に今までの来館者数であるとか、貸出数とか、展示イベントとか、若い世代の人にもっと来ていただきたいなというところと、ニーズに合った図書館になったらいいなというところでリニューアルの構想を立てました。ですから、あくまでも甲西図書館に人を寄せサービス展開していこうというリニューアルです。ただ、個別施設計画では2館を1館にする計画ですけれども、あくまでも甲西図書館のリニューアルについては、甲西図書館のみを考えて話が進んでいるところでございます。
委員	今のご説明をお聞きして、それでもわからないところがございます。というのは、2館が1館にというのはもう何度も聞かせていただいているのですけれども、西庁舎周辺整備で、図書館機能を残すか、図書機能を残すかっていうところはまだ全く決まっていないという説明をお聞きしまして、そのところがきちんと決まっていないのに、先に甲西のリニューアルの方が決まって先に進むのは、機能についての決定如何で無駄がでてしまうのではないのでしょうか？それは、行政のお仕事として、もったいないことだと思います。
事務局	説明不足で申し訳ございませんでした。甲西図書館リニューアル基本構想を令和7年度でたてておりますが、図書館全体を考えたときに、方向性をはっきりと示したものがないというところで、令和8年度に湖南省の図書館基本計画を策定する予算を今要求しているところです。今後の湖南省の図書館としてのあり方をまとめていこうというのが来年度で、その中で2館を1館にしていくことや、甲西図書館のリニューアルについてもそこで話す。図書館基本計画は図書館をハード的なものではなく、ソフト的なことで計画を立てよ

	うということになっています。
事務局	先ほどの石部の図書館ですけれども西庁舎周辺の整備の中で考えている小規模多機能センターで、例えばこういった図書館サービスが必要なのかっていうのは、今後、お話を聞いていく。これは以前から言っています通りです。西庁舎周辺の図書館だけに限らず、自治センターであるとか福祉的なことであるとか、そういったことは今後市民の皆さんから意見を聞きながら、こういったものが必要なのか、こういったサービスが必要なのか、できるのかっていうのは、今後話を聞いていって進めていくというところでございます。
委員	とてもいい話だったと思ったのですね。市の図書館、一体何を望まれているのが市民はいろいろ意見を出しました。行政としては、どういう構想があるのか、どういう図書館にしていこうとされているのかを、令和8年度に基本計画を策定されると。それが先でリニューアルじゃないのかな。確かに甲西図書館、こういうところがサービス足りないのではないかと市民の人からいろんな意見が出たと思うのです。トイレはちょっとなとか。それはもう本当にそうだと思うのですが、それを取りあえず市民の考えを聞いた上で、少し改善していく、リニューアルをまずはする。その後どんな図書館にするかということが出てくるということでしょう。どうも逆のような気がして。
事務局	逆なので、まず基本計画を作って、あくまでも今リニューアル構想を練っているの、ここをこうしようというのは今後これからの話です。計画が出来た後に、リニューアルの基本的な設計に入ることです。今回、このリニューアル構想という形で示させていただきますけれども構想なので、まだ具体的にここをこうしようとかいうところまで至ってない。来年度予定しています図書館基本計画は、図書館のあり方、今後のサービス展開を決める計画を先にまず立てようということです。
委員	今のご説明を聞いて、ちょっとわかりかねています。2館を1館にする問題がありますが、石部の図書館が閉じることについての影響、館の問題ではなくて、サービスにどういう影響があるのか、そしてそれをフォローするためにはどうしたらいいのかということはこの会議の中では話し合っておりません。それはずっと会議に出てくださいしている委員の皆さんの共通認識だと思います。そのところを押さえた上で、リニューアルを考えていきたいと思いますし、基本計画もそのところを押さえて進めていただきたいと思い

	ます。
委員	「これからの目指す姿」を見ながら考えたのですが、先日東近江の図書館に行ったら、ちょうど合併 20 周年のまとめを作っていて、そこでは自分たちが何を目指して何を実現しようと頑張ってきたのかということをまとめていたんですね。やはりこれからのことを考えて。私は湖南市の図書館の初期は本当にいい仕事をしてくれていたと思っています。本当にその歴史をきちんと踏まえて、これからを考えて欲しいのですよ。私は、あなたたちがやってきた仕事を本当に誇りにして欲しいのですよ。だけど、これ拝見したときに、そのことは全くここに表れてない。自分たちが頑張ってきました、けど何が実現できないのか、何が問題なのか、そのことを踏まえてこれからどうしていきたいという自分たちの声を出して欲しいのですよ。それが感じられないのですよ、これ見ていて。やはり現場の人たちが自分たちの仕事に誇りを持って、それを市民はきちんと評価してくれているはずなのですよ。このことを踏まえて、この報告を作って欲しいのですよね。そうしないと本当に作文になってしまう。あなたたちがやってきた仕事そのものをスポイルしかねないことになってしまう。職員が誇りを持っているからこそ新しいものを作ったときに職員が誇りを持って仕事に取り組めると言うのですよ。それがないと、せっかく新しいものができても、どこに職員は自分たちの誇りを持った仕事を付け加えていけなくなってしまような気がする。だからそのところもう少しちゃんと現場の人たちの思いをここに、これまで湖南市の図書館で仕事してきた人たちの積み重ねてきた努力をきちんと踏まえた上で、だけどこれが実現できないのだというところで課題を出してきてほしいなというふうに思います
委員	先ほど議論しましたその先進事例の件でね。人口の多いところで進んでいるところがメインだと思うのですよ。そうではなくて湖南市の人口に合う、広さとか交通の便とか、そういうところを踏まえた中でね、そこでどこに問題があるのか、どういう形にしているのかというのを調べた方が参考になると思うのですよね。ですから実際に庁舎の件にしましてもね、人口が近いところで広域の範囲に広がっている市の中で、どういう方法がいいのかというところからしないと、なかなか来館者が増えない、苦情も増えるという感じじゃないかなと私は思います。
議長	愛荘町は人口が 2 万人くらいです。でも図書館は 2 館ある。ここに

	載っている業者さんが作られた先進事例は、本当に大きなところだと思いますし、先ほど言われましたように、やはり比べるのであれば同じくらいの5万4千人くらいのところということで、協議会の委員さんもそのときそのときであそこいいよということで、見に行かれて何がいいのか、どんなところがこの市の図書館に取り入れられるのか、その辺は本当に年3回の会議ではなかなか出てこない。それぞれの思いをそれぞれが行動に移して、動いておられますので、その辺も見に行くだけでなくそれを事務局の方であったり、行政の方に伝えてそして、来年8年度にできる図書館計画基本計画に入れられるように本当に行っていきたいと思っております。
委員	多分先進事例調査は、市民から出た要望が実現されているような図書館をピックアップされた内容だろうと思うのです。これ見ただけでも豪華すぎる。予算もいるし人もいるし場所もいるわけですよ。私はここまででできるわけじゃないっていうようなことはわかるのですが、先ほど言われたように、この湖南市の特徴、地形とか大変広い場所の中に人口が5万ぐらいて、交通の便も悪いみたいなことの解決方法があるような調査が必要じゃないかということですよ。私も同感です。そういうことを踏まえた中でどういけるかということにしないと飾りになる可能性が強いのではないかなと。もう一つですけど、今いろいろ意見出ました。特に図書館の現場で働いてくださっている司書の方とか、そこの考えが全くやっぱり出てきてないという、本当は、私達はこうしたいのだとか、甲西町立図書館の頃からいらっしゃった方もだんだん少なくなってきて、本当に数えるほどしか残っていらっしゃらない中で、あのときと今と、もちろん社会の環境も変わり市民が求めるものも変わってきたのは確かなのだと思うのですが、その中でもあの頃、どんなに交通の便が悪くても、来館者がたくさんいて、行事もたくさん行われてっていうような時代を私も引っ越してきて過ごさせていただきました。本当にとても良い図書館に巡り会えたと思って今まで暮らしてきたのですが、その辺の現場の声というものも、もっと出していただけたら変わってくるのかなっていうのをお話を聞いて思いました。私達がここで言った話がどこかでちゃんと反映されるかどうか、その後のことを次の会議のときにでもちょっとお聞きしたいぐらいです。ここ何年も委員をさせていただいて、ここで意見を述べさせてもらっているのですが、その後一体私達が言った意見がどうなっているかというのが、次の会議、すぐでは

	なくてもその次の会議で見えてきていないようなずっとそういう何かを過ごしてきました。本当に大事なところじゃないかなと思います。図書館がどうなっていくかということで、現場のもっとこういう図書館に私達もしたいとかこういう仕事をしたいっていうことを私も生の声を聞いてみたいなと思いますのでよろしくお願いします。ただの意見で終わらせないでよろしくお願いします。
委員	今のご意見にちょっと付け加えて。委託業者さんに発注された発注書がネットで上がってしまして、それによりますと3月19日ぐらいに原案を提出することっていうことになっているかと思えますけれども、その日程で進まれるのでしょうか？ということ、この会議で出たことを19日までにまとめて出されるというような理解でよろしいでしょうか？
事務局	そうですね。まだ現在進行形という状態なので、固まっているのは先ほど申し上げましたように第4章までで、第6章も第7章も、一旦出していただいたという状態です。現場で働いている者の声が出ていないというところもそのあたりで感じられたのではないかなという気がしております。正直なところ、数字もここ5年のもので、20年前30年前がどうだったかっていうことでの分析はされていないので、その辺りもあるのかなというふうには思っております。
委員	先ほどおっしゃったのは、現場の司書さんたちの意見とか、そういうのがここに載っていないよというご指摘であったと思います。それを19日までに揃えられるのかどうか、というところを教えていただきたいなと思ったところです。
事務局	業者から提示はされていますけれども、その後私ども見ておりますし、今日の皆さんのご意見も頂戴しながら、思いを反映していきたいところです。3月議会でも来年度の図書館の運営についても質問が出てしまして、こういう図書館を目指してやっていきたいっていうことは私たち現場の意見もふまえて、教育長が答弁をしています。
事務局	私からも補足させていただきます。いくつか質問いただいた中で、ご質問いただきました。この先進事例調査といいますのは、市民アンケートですとか、ワークショップなどで、こういった図書館になればいいなっていう意見をもとに、それをイメージできるような写真であったり、図書館を紹介したものが中心となっておりますので、人口規模ですとか、蔵書数も含めて、少し湖南市の図書館とは違うものが上が

	っているのが今のこの現状となっております。ご意見をいただいたように、この人口規模で同じような面積で、同じような条件で来館をするというようなところとの比較も当然必要になってくると思います。そちらは 13 ページで文字でしか現れていない状態にはなっていますが、今後設計の段階に入っていく中で、その辺りはもちろん考えていけないといけないと思っております。司書の意見が反映されていないのではないかとということでご心配はいただいておりますが、市民さんの意見というのが見えやすいような、基本構想という形で仕上がりつつあるのですけれども、当然これを作成するに当たりましては、司書とも何度も打ち合わせしておりますし、全てが反映できているわけではないのかもわからないですけれども、司書の意見も協議会委員さんのご希望などもなるべく反映できるようにというところで摺り合わせたのが、今この構想案という形になっているのが現状でございます。
事務局	リニューアル構想はイメージです。この最後の第 6 章で課題の整理をして、第 7 章の甲西図書館の目指す姿というところで、例えば 38 ページの下具体的な取り組み、例えば配架のことであるとか、少し工夫してあらゆる世代を意識した蔵書構成の見直しをしましょうというもの、ここを例えば YA にして、ここを子ども用にして、ここは静かなゾーンにしてというのは、これから具体的には決めていこうと。ただ、この辺は児童コーナーがいいな、ここは静かなコーナーがいいなという、大まかなことは、イメージをするような構想にしたいと思っております。その個々の具体的な例は、将来像であるとかサービス、今後の方向性、第 7 章で書かせてもらっている、これでまとめていきたいなと思っております。この構想の流れでいきますと現状把握して、アンケートやワークショップ等で出てきた意見を取りまとめて、第 5 章の先進事例は、そういったところに出てきた意見、例えば 31 ページの利用者が本に興味を持つきっかけとなるような仕掛けを展開しているところは、この図書館ですよということを載せています。次の 30 ページの ICT を使ったサービスを展開しているところはここの図書館で、こういう感じで ICT を使ったサービスを展開していますよと。33 ページの親子で気兼ねなく読書を楽しめる空間が必要だねという意見があったので、親子で楽しめる空間はこんなことで、このような図書館がありますよというイメージをするような先進事例ということです。先ほどの 3 月 19 日というのは工期で、今年度、このリニューアル構想を確立するということで議会にも提出し予算を認めていただいておりますので、議

	会で説明をしないといけません。3月19日に最終版出るのではなく、もう今3月2日ですけれども、ある程度まとまった段階で最終仕上げて、議会に報告しようというスケジュールになっています。
議長	ありがとうございます。第7章の甲西図書館の目指す姿を踏まえた上で8年度に基本計画を作っていただいてという形になるかなと思います。私たち協議会の委員というのは、この会議のときだけではなく、それ以外のときでも図書館のことをいろいろとそれぞれが考えて、事務局の方に私たちはこう思いますということを伝えさせてもらうのが2年間の間の私たちの役目だと思いますので、それを踏まえてよろしくお願ひしたいと思います。では、次の「子ども読書活動推進計画」について事務局の方よろしくお願ひします。
事務局	第4次湖南市子ども読書活動推進計画につきましては、委員の皆様からもご意見を頂戴し、ありがとうございました。市役所各課に意見照会を行い、また市議会福祉教育常任委員会や生涯学習審議会にもご説明をさせていただき、案としてまとめたものを12月24日から1月23日までパブリックコメントをさせていただきました。結果、1名の方からご意見を頂戴しております。現在、計画の最終案をまとめさせていただいたところで、3月の議会での報告が終わりましたら、図書館にも配置をし、また関係者の皆様にも配布をさせていただきたいと思っておりますので、報告とさせていただきます。
議長	報告第2が終わりました。次に報告第3の次年度の図書館の予定についてお願ひします。
事務局	来年度の図書館の予定でございますけれども、主なものとして3点ございます。まず1点目が仮称ではございますが湖南市図書館基本計画の策定でございます。本市の総合計画や教育振興基本計画に、大きな方針ですとか目標の一部を記載はしていますが、今後の図書館運営に当たりましては、やはり全域サービスも含めまして図書館の方向性をしっかりと示す計画が必要であろうというところがございます。計画策定に当たりましては、図書館基本計画策定委員会を設置しまして、図書館協議会の皆様からもご意見を頂戴する機会を作りながら進めてまいりたいと考えております。その基本計画の中に甲西図書館のリニューアルの基本構想も落とし込んでいく予定です。 次に2点目でございますが、来年度、図書館のシステムの入替を予定しております。もう業者は決定をしております、6月の下旬に

	石部・甲西両方の図書館を閉館しての入替となります。その間のご不便をおかけすることにはなりますけれども、入替後は皆さんの使いやすさが向上する予定でございます。例えば先ほどの利用者アンケートで、スマホが利用カードの代わりになったらよいという意見があったと思いますが、それが実現する予定でございます。あと「図書館で前に借りて返した本をもう一度借りたいけど何かわかる？」と言われたときに、読書の秘密を守るという観点から図書館側では返却されると一切わからなくなりますが、ホームページを改修することによって、ご自身で借りた方が記録として残せるようになるという機能を加えていただくことになっております。また、利用者用検索機を利用してセルフ貸出ができるという機能を追加していただくというようなことも決定をしております。詳しくはまた来年度のシステムの入替後にご案内をさせていただこうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。 3点目でございますけれども、懸案でありました甲西図書館のトイレのユニバーサル化工事を実施する予定でおります。洋式化するとともに、今段差が少しありますが、段差を解消して利用しやすくということを考えております。こちらの方もおそらく休館を伴う工事となると考えておりますので、また時期が決まりましたら改めてお知らせをさせていただく予定でございます。来年度大きなことは以上です。
議長	ありがとうございます。次年度の大きな3つの計画がスムーズにいくといいなと思います。次ですが報告4、湖南省からもたくさん行っていただきましたが、県の図書館協議会の交流会の報告についてお願いします。
事務局	12月6日土曜日に滋賀県立図書館で図書館協議会の交流会を開催されまして、湖南省の図書館協議会からも6名の方の出席とそれからのZoomでの参加の方1名がありました。子どもたちとの学校図書館などについて、どのような取り組みをしてきたかということ湖南省の事例も含めて、報告をいただいた後、それぞれに分かれていろいろな事例、自分たちのところはどうだとかいうようなお話も話をさせていただきました。楽しい有意義な時間を過ごしていただけたかなと思っております。
議長	県図書館協議会の交流会についての報告ですが、行かれた方でもう少し説明するという方がおられましたら、どうぞよろしくお願いいたします。

議長	他市の参加者が少なかったのに対して湖南省からは6名プラス1で、何となくテーブルではまず湖南省の話をしようみたいな感じになって、今のこの協議会の内容も含めてですけれどもやっぱり2館が1館になるということ等に関しても、他市からもいろんな意見もありましたし、またアイディアもありました。また反対に、他市ではそんなに今取り上げることが少なかったのかなとちょっと勝手に思いましたけれども、でも湖南省だけではなくて他からの意見も聞けましたので有意義な時間を過ごせたのかなと思いました。
議長	その他の連絡事項について何か事務局からありますでしょうか？
事務局	今年度は今回で最後の会議になりますが、任期が2年間ございますので、皆様にはもう1年間お世話になりますので、どうぞよろしくお願いいたします。
議長	区長として出てきていただいて、協議会に出席いただいた感想をお聞かせいただけると嬉しいです。
委員	ではざっくばらんに。やはり図書館のこと、一般の方がどう考えているかということで、地域代表者会議とか自治会の役員会議の中では、そういうことを踏まえて、意見を聞いていました。それと、岐阜の方へ研修にも行きましたが市役所の建てかたの問題とか、そういうことからすると、甲賀市の方はどうしているのかと向こうの方も庁舎を見に行ったりしました。そういう意味ではいろいろな内容を意識的に取り入れようかなという方向になりました。以上です。
議長	ありがとうございます。本当に区長さんとしてご参加いただいてありがたかったなと思いますので、今後どうぞよろしくお願いします。
委員	1点だけ質問させてください。この前の会議で、司書さんのことについて、現状では採用はしていないというようなご発言をされたと思うのですが、そのことについてもう少し詳しく、今後どのように考えておられるのか、教えていただけたらと思います。
事務局	前回、司書の採用ということをお聞きいただきまして、正職の採用は今年度ないと申し上げました。今後のことは人事でどうなるかというのはこれからですけれども、先ほど言いましたように図書館基本計画からリニューアルに今後どう展開をしていこうかというところによって、当然、体制は関係してくると思います。湖南省の図書館のあり方を考える上で、やはり人はもっと必要だろうということになれば、当然そういう方向の話にもなってくるでしょうし。

	ただ、令和8年度の図書館司書の採用はございません。だからと言って司書がどんどん減っていくのも我々も担当としても困りますし、それは人事部局にもお話ししていますので、人員の確保、さらにプラスアルファの部分も要求はしているのが現状です。
委員	参考までに、今の職員構成、正規職員などの司書の方年齢構成を教えてください。
事務局	今8年目の職員が2人います。退職補充がないというところで正規職員司書は6人と人数は減ってきています。6人のうち、今8年目の職員が2人います。私が60歳で今年度まで、あと59歳、57歳、56歳です。なので、ここ5年間で町時代の図書館を知っている司書は、基本的にはいなくなります。65歳まで定年延長になりますので残ればいますけれども。
事務局	現状としては、今ご説明させていただきましたけれども、このことも含めまして、来年度図書館基本計画で、今後図書館をどうしていくか、こういったことを進めていくのであればこれだけ司書が必要ですよ、ということの根拠にもなっていくかと思っています。ただ教育部側が欲しいと思っている人数がそのまま採用できるかというのは、これは市全体の話になりますので確約できるものではありませんが、要求をしていく材料にはなると考えていますので積極的に事業であったり、そういうのは前向きに落とし込んでいけたらなと思っています。
委員	先ほど、セルフ貸出のできるシステムも入るとありましたが、業務的には機械がしていく。だから人がいらなくなるのか。2館が1館になると、今2館でやっているのだから1館になったら人数的にはいいのか。そういう問題ではなく、本と人とは繋がるためには、司書の方の存在が大事かというのを、私は自分が図書館に何回も通ってきてそれを感じております。司書が入ってすぐ活躍できるかというところでもなく、今8年目の方がとても活躍されているのですが、その間採用がなかったということは、どんな方をまた採用されるかわからないですけれども、湖南市の図書館を盛り上げていこうと思ったださる司書の方がやっぱり一番力になるのではないかな。機械化するとか、いろんな施設が綺麗になるとか、もちろんそれも大事だけれども、やはり両輪として人の大切さというのが人を呼び込むのではないかなと思うので、ここはぜひ私たちもすごく願うところですけども、行政の方の、この図書館の関係してくださる部署の皆様が、しっかり言っていたらなとお願いしたいと思います。

議長 (	今日、本来は会長さんが出てきていただく予定でしたので、その会長さんに、これから、どのような図書館を望むかということを経理長さんに話をして欲しいということをおっしゃっていただいたのです。話を聞いていると基本計画が令和8年度にできるということです、それに本当に望みを託してというのか。でもその前に経理長さんよろしくお願いします。
経理長	本日はありがとうございます。先ほどから伺っていて、ここにいらっしゃるメンバーというのが、まず図書館に造詣の深い方っていうのももちろんなのですが、先ほどもおっしゃっていただきましたが、図書館のことについてプライド、誇りを持って取り組んでこられたという皆さんでもありますし、そして何よりも図書館が大好きで、ぜひそこを通して、人と人との繋がるそこが大好きなんやっていう思いを持った皆さんですので、もう私からしたら本当にリスペクトで、今日はこうやって皆さんの生のお声を聞けたということ、その一言一言はすごく重みがあると思います。先ほども甲西図書館のリニューアル基本構想についてたくさんのご意見を頂戴いたしました。いろいろと調査とか、ワークショップ等もして、この積み上げてきたわけですが、何か一番大事なものの、甲西図書館というかこの湖南市ならではの熱とかぬくもりみたいなものを私も一緒に感じたいなという思いがあります。ですので先ほど言ってくださった全てが盛り込めるとはお約束できないですが、一言でもワンフレーズでもそこを必ずここに思いを乗せていきたいなということを改めて思いましたし、それから様々なことについて考えていただいている皆さんのご意見というのは、大切に受け止めさせていただきたいと思いました。皆さんが思い描いてくださっている図書館のイメージがあると思いますけれども、先ほどから出ています、来年策定していく基本計画、これが、これからの湖南市の図書館行政の肝になっていく、それがまたリニューアルにも反映されていくと思いますので、その策定しっかりやっていけたらと思っています。以上ですありがとうございます。
議長	ありがとうございました。それでは事務局にお返しします。
事務局	副会長、突然にも関わらずスムーズな進行していただきましてありがとうございました。

4. 閉 会

[副会長あいさつ]